

セミナープログラム 全300講演 開催!

<監修> 国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長 妙中 義之

医療機器 開発セミナー

基調講演
MEDIX-K

医療機器業界のキーパーソンが語る!

有料
日・英

2月15日[水]
10:30~12:00

特別講演①
MEDIX-S1

医療機器産業の発展に向け



オープニングスピーチ
~医療機器開発・製品化支援の最新動向について~

国立循環器病研究センター
研究開発基盤センター長
妙中 義之



わが国における医療機器の「開発・製品化~商品・ビジネス化」への取組みの最新動向

(公財)医療機器センター 理事長
国立研究開発法人
日本医療研究開発機構 (AMED)
医療機器プログラムディレクター 菊地 眞



経済産業省における
医療機器産業政策について

経済産業省
商務情報政策局 ヘルスケア産業課
医療・福祉機器産業室 室長
遠山 毅

国内の医療機器分野の開発・製品化支援の体制は、ここ数年で大きく変わってきている。これまでの取組み成果とともに、医療機器開発に関する最新動向と今後の新たな展開について解説する。

AMEDの「オールジャパンでの医療機器開発」では、開発・製品化~商品・ビジネス化までを産学官が一体となり取組む。併せて、中小企業と医療機関との連携を促進し、医療現場ニーズに応える機器開発を推進している。その最新動向を紹介し、日本発の国際競争力の高い医療機器を生み出すための今後の展望を語る。

政府では、医療機器を含む医療関連産業を成長産業と位置づけ、日本経済を牽引する産業に発展させるべく、研究開発の強化や海外展開の推進などを積極的に展開していくこととしている。こうした政府全体の方針を踏まえ、当省が進めている医工連携の推進や革新的な医療機器の開発、「医療機器開発支援ネットワーク」などの諸施策について説明する。

特別講演②
MEDIX-S2

東芝メディカルの研究開発部門トップが語る!

無料

2月16日[木]
10:30~11:30

特別講演③
MEDIX-S3

GEヘルスケアの技術部門



東芝メディカルにおける医療機器・医療情報ソリューションの技術開発とグローバル連携について

東芝メディカルシステムズ(株)
常務 医用システム研究開発センター長 立崎 寿

医療ニーズや社会要請を踏まえて、当社の事業展開の取組みや今後の展望を述べると共に、CTやMRIをはじめとする医用画像診断システムや、医療・ヘルスケアITにおける技術開発及びグローバル連携等の取組みについて、事例を挙げながら紹介する。



GEヘルスケアにおける医療へ

今GEで何が起きているか? GEが推進するデジタル製造拠点をもつGEヘルスケアのCTをはじめとするデジタル戦略を解説する。

専門セミナー
MEDIX-1

医療分野への新規参入事例

有料

2月15日[水]
15:30~16:50

専門セミナー
MEDIX-2

医療機器ビジネスの海外展開

異業種から医療機器業界への参入と製品化までの道のり

タツタ電線(株)
特別顧問 橋本 和博

当社は1945年創業以来、電線・ケーブルを製造、販売してきた一方、30年前から多くの新規事業に挑み、4年前からコア技術を核に医療機器事業参入を目指している。研究開発から製品化までの取組みと成果を紹介しつつ、参入のハードルを乗り越えるための重要ポイントを解説する。

中小製造業の医療参入と海外展開における事

金型・プラスチック成形企業の当社は、医療分野に進出し今は自力を入れている。医療への進出・自社商品の開発・海外展開の日本の中企業の強みと医療業界の特性に注目して紹介する。

専門セミナー
MEDIX-3

医療機器プログラムの最新事例

有料

2月16日[木]
15:30~16:50

専門セミナー
MEDIX-4

手術支援ロボットの開発事例

異業種から医療機器(プログラム)産業へ新規参入の流れ~メディカルICTビジネスについて~

(株)アルム
代表取締役社長 坂野 哲平

IT産業から医療機器産業に参入し、クラウドとスマート端末を活用した医療機器プログラムを開発、日本・米国・欧州・ブラジルにて認可を受けて展開する。国内で医療機器プログラムとして初めて保険適用されるまでの申請・承認の流れについて、様々な課題への対応事例を紹介しつつ、医療機器プログラムのビジネスの実情と今後の可能性について述べる。

世界初の空気圧駆動手術支援ロボットシステム実用化に向けた取組み

科学技術創成研究院 未来産業

ロボット手術は、低侵襲性と直感的な操作を両立できることからの課題である。その点を独自の空気圧駆動により可能とした腹腔視鏡ホルダの製品化事例をもとに、医工連携による開発・製品化

上記以外にも医療情報や再生医療などに関する講演を一部抜粋!

MJ-K

メディカル ジャパン セミナー 招待講演

IT-K

医療情報 フォーラム 基調講演

IT-S

医療情報 フォーラム 特別講演

2月15日[水] 10:30~12:00

無料 日・英

2月15日[水] 15:30~17:00

有料

2月16日[木] 13:00~14:30

無料

夢のある地域包括ケアをどうつくるか

諏訪中央病院
名誉院長 鎌田 實

地域包括ケアシステムが、2025年までに全国津々浦々に創られようとしている。金太郎船のようにどこでも同じようなシステムができるのではなく、それぞれの地域に合ったシステムができることが大事だ。高齢者の多様なケアが中心ではあるが、忘れてはならないのは、健康づくり運動や、多死時代を迎えて地域でどう死を取れるかも大きな課題となる。多職種の人達が、どのように信頼関係を作り、住民ファーストのシステムができるかを考えてみたい。

医療情報の取扱いにおける代理機関(仮称)制度について

内閣官房
健康・医療戦略室 次長 大島 一博

生活習慣病における対応と健康・医療情報の活用について ~糖尿病に対するアプローチを中心に~

経済産業省
商務情報政策局 ヘルスケア産業課 課長 江崎 禎英

IBM Watson と医療の世界

日本アイ・ビー・エム(株)
ワトソン事業部 ヘルスケア事業開発部長 溝上 敏文

人工知能のゲノム医療への応用

東京大学
医科学研究所 ヘルスインテリジェンスセンター
健康医療データサイエンス分野 教授 井元 清哉